第20回 2007モータースポーツファン感謝デーにて授彰式開催

鈴鹿サーキット モータースポーツ顕彰決定

鈴鹿サーキットではこれまでモータースポーツの発展、振興、またファンの拡大につながる顕著な活躍、功績を残された個人または団体を対象にモータースポーツ顕彰を、また大きな活躍が期待される個人を対象にライジングスターアワードを設定し、その功績を広く知っていただくとともに感謝の意を表してまいりました。

２００６年度にもっとも顕著な活躍をされた方々、団体等を東京運動記者クラブモータースポーツ分科会、日本モータースポーツ記者会（JMS）、日本レース写真家協会（JRPA）、日本ロードレースプレス協会（RRPA）の皆様のご協力のもとに選出し、下記の通り顕彰を決定させていただきました。

ぜひ、貴媒体にてご紹介いただくとともに３月４日（日）に鈴鹿サーキットで行われます授彰式のご取材をお願い申し上げます。なお３月３日（土）、４日（日）はモータースポーツファン感謝デーを開催しております。あわせてご紹介、ご取材いただければ幸いです。

■2006年モータースポーツ顕彰 （2006年に顕著な活躍をした個人・団体など）

★スーパーアグリF1チーム（SAF1）

鈴木亜久里代表

F1ファンはもとより、日本のモータースポーツファンの夢を実現してくれたのが、元F1ドライバー鈴木亜久里氏率いるスーパーアグリF1チーム（SAF1）。わずかな準備期間しかなかったにもかかわらず、2006年開幕戦からホンダエンジンを搭載したスーパーアグリのマシンがスターティンググリッドに並んだのだ。またドライブしたのが佐藤琢磨、井出有治、山本左近というオールジャパンチームだったことも、多くのファンを引きつけた。2006年はSAF1チームによって、日本のF1史に新たな1ページが刻まれた年となった。

スーパーアグリF1マシン

■2006年モータースポーツ特別顕彰 （2006年に特別な活躍をされた個人・団体など）

★テクニカルスポーツレーシング（TSR）

藤井正和監督

ワークスチームが総力を挙げて参戦してくる“コカ・コーラ”鈴鹿８耐。メーカーでさえ優勝するのが難しい過酷なレースだが、プライベーターとして参戦を続けてきたのが藤井正和監督率いるテクニカルスポーツレーシング（TSR）。2006年の第29回大会で伊藤真一、辻村猛の２人を擁して４年連続の予選ポール・ポジションを獲得すると、決勝も序盤からトップを快走し念願の８耐初優勝を飾った。プライベートチームが巨大メーカーを破る快挙にサーキット全体が興奮に包まれた。また、８耐前に開催された“NANKAi”鈴鹿Mini-Moto４耐では、父の璋美氏、息子の健太くんとともに3世代混成チームを組み、見事完走の快挙。モーターサイクルレースが生涯スポーツであることを証明してくれた。

TSR 8耐参戦マシン

■2006年モータースポーツ功労顕彰 （永年に渡りモータースポーツの発展に貢献された個人・団体など）

★北川 圭一

長年、世界のロードレースシーンを牽引してきたトップライダー。数々の全日本タイトルを獲得し、2003年には“コカ・コーラ”鈴鹿８耐で終盤までトップを快走する活躍を見せ、その豪快な走りは多くのファンの心に刻まれることになった。2005年に参戦したFIM世界耐久選手権で日本人初のチャンピオンを獲得。翌2006年にも同選手権2連覇を達成し、改めて強さ見せてつけてくれたが、この年を限りとする引退を表明。晩秋のMFJ-GP鈴鹿では多くのファンに惜しまれつつ感動的な引退セレモニーが行われ、21年のレース人生に終止符を打った。

■2006年ライジングスターアワード2輪 （2006年の活躍と2007年に更なる活躍が期待される2輪選手）

★富沢 祥也

2006年、若干１５歳で全日本ロードレース選手権GP125ccクラスにステップアップ。開幕戦でいきなりトップ争いを展開する鮮烈なデビューを果たし、その後も常にトップ争いを展開。富沢は2位3回、3位2回を記録して参戦初年度で堂々のランキング2位を獲得。2007年度はGP125に加え、GP250にも全日本にダブル参戦。両クラスにてチャンピオンを狙う。将来の目標である世界チャンピオンへの道を一気に駆け登りそうな勢いだ。

■2006年ライジングスターアワード4輪 （2006年の活躍と2007年に更なる活躍が期待される4輪選手）

★該当者なし

各受彰の皆様は3月4日(日)12：30(予定)よりグランドスタンド前で行われる授彰式にご参加予定です。
（代理の方のご出席となる場合もございます。あらかじめご了承ください。）

※敬称略

株式会社 モビリティランド　鈴鹿サーキット　〒510-0295
三重県鈴鹿市稲生町7992　TEL（059）378-1111　FAX（059）378-4568　URL http://www.suzukacircuit.jp/